



Tierra

倉敷市国際交流協会 (KIA)

2005年11月第13号

倉敷 English Camp 2005

倉敷イングリッシュキャンプ2005は8月24日(水)から8月25日(木)にかけて、今年も倉敷市児島由加にある少年自然の家で開催しました。

142人の市内在住しているあるいは市内通学している中学生及び高校生並びに約70人のNET(外国人英語講師)とJTE(日本人英語科教員)とスタッフを含めて212人が1泊2日のキャンプでゲーム・スポーツや音楽などの充実したプログラムを通じて色々な場面で生きた英語を楽しみました。

オリジナルTシャツクラス↓



また、今年の合併に伴い、真備町と船穂町の高校生、中学生、英語科教員が初めて参加しました。

この事業の準備のため、NETとJTEを中心に実行委員会を立ち上げ、4月以降、全員で一所懸命頑張ってきました。各種のプログラムを楽しんでいる学生たちを見て分かるように今年のイングリッシュキャンプは大成功でした。

2日目の様子→



笑顔ばかり←



DJワークショップクラス↑

※Tierra(ティエラ)とはスペイン語で「地球」「大地」「故郷」の意

姉妹都市との交流事業

カンザスシティ市学生親善使節

7月19日(火)から8月8日(月)にかけて、姉妹都市アメリカカンザスシティ市学生親善使節4人が倉敷市を訪問しました。

ホームステイをしながら日本に対する理解を含め、三菱自動車水島製作所の見学、和紙づくり体験、下駄づくり体験、青陵高校の高校生との交流会、市民向けの英語によるディスカッショングループなど様々な公式行事に参加しました。倉敷市のほか、大阪、広島、宮島、京都も見学し、充実した3週間を過ごしました。



国分寺の見学 ←

K C 市空港で →



カンザスシティ市への生活体験団

7月22日(金)から8月7日(日)にかけて、高校生9人の生活体験団が姉妹都市カンザスシティ市を訪問しました。訪問団を空港で待っていたのは、アメリカ中部日米協会の人たちでした。彼らはボランティアで私たちを歓迎してくれました。

カンザスの空気はとても心地よく、倉敷市の雰囲気にもピッタリマッチしていると感じました。町並みは広い道に高い木が並んでおり、きれいな都市景観を形成していました。このホームステイで本当のアメリカの生活体験を実感できました。

皆、この夏はかけがえのない夏となりました。

クライストチャーチ市への生活体験団

今年の体験団は、団員、団長、副団長あわせて16名に増員され、7月21日(木)から8月7日(日)にかけてクライストチャーチ市を訪問しました。

出発直前には航空会社のストライキが決定し、出発を1日早め、オーストラリア・シドニー経由となるなど当初は波乱含みでしたが、現地ではホームステイをしながら、通学体験、南極国際センターやウィロウバンク野生動物保護区の見学など、楽しい体験をすることができました。

また、たくさんのホストファミリーや関係者の方と楽しんださよならパーティーでは、日本の歌なども披露し、素晴らしい思い出となったようです。



表敬訪問の様子 ←

両市長の握手 →



クライストチャーチ市長の来訪

クライストチャーチ市のギャリー・モア市長を始めとする姉妹都市関係者およびIT分野関係者7人の訪問団が8月3日(水)から8月4日(木)にかけて、来訪しました。

今回の訪問にあたり、古市市長に初めて会うことができ、表敬訪問や歓迎昼食会を通して、両市長は今後の姉妹都市交流に関して意見を交換しました。

モア市長は2003年8月に両市の姉妹都市提携30周年記念式典に参加された時以来、2年ぶりの来倉となりました。

会員の声

ゾマホンさんの生き方に感銘
会員 古城 敬介

3月5日、「日本とアフリカの相互理解」のテーマでゾマホンの講演会を拝聴させていただきました。英語による講演との先入観念だったので「あれ？」と思ったわけですが、その内容には心打たれるものがありました。「今アフリカでは毎日8,000人の人が死んでいる、昨日も今日も死んでいる、明日も間違いなく死ぬだろう、それも水がない、食べ物がない、病気にかかっても薬がない」もしも日本に生まれていたら死ななくても済む理由で多くの方が死んでいる、ゾマホンさんの痛切な気持ちとともに、改めて日本に生まれ、日本で生活できる喜び、しみじみ感じさせられました。

帰りに「ゾマホンさんの本」を頂戴しました。読み進むうちに、これまで私が彼に対して抱いていた印象が恥ずかしくなりました。面白い外国人、愉快

な外国人、のイメージが一変しました。孫文、孔子、福沢諭吉を尊重しこうした人たちの生き方に共鳴し中国で大学院を終了、日本でも上智大学大学院博士課程在学中と言葉の壁を乗り越えての頑張りには唯々頭の下る思いです。

日本人の日常からすると想像もできないような、どん底の生活をしながら、彼の人生観は日本人が失ってきた昔の良き道徳、教育を貫いていることに感銘させられます。とりわけ教育の大切さを訴えておられることに視点の広さ、大きさにも心打たれるものがあります。これからの自分の生き方にも彼の考え方、生き方を取り入れさせていただこう、多いに参考にさせていただこう、と思っております。ご立派な講演会を開催いただきましてありがとうございます。（原文のまま）

第1回倉敷市派遣クライストチャーチ市訪問障害者親善大使派遣事業 親善大使 平田 光伸

今回、初の海外に行く事もあり、いろいろ不安やこれからどんな事が待っているのかという期待で胸をドキドキさせながら行きました。

現地のニュージーランドに着くと空港にはたくさんのお客様の方が熱烈に出迎えてくださってすごく感動したのを覚えています。予定では着いたその日に市内観光があったのですが、私たちの長旅の疲れがでていたのか予定を変更してすぐホテルに連れて行ってくれたのが嬉しかったのを記憶しています。空港からホテルに向かう途中、クライストチャーチの町並みを見ながら日本との緑の多さの違いに驚きました。

ホテルに着き、部屋はすごく広くてよかったのですが洗面所とお風呂を見たときにシャワーが高い位置に固定してあるのを見て、どうやってお風呂に入ろうかと考えました。ちょうど洗面器みたいな器があったのでそれにお湯を溜めながらのお風呂は大変でした。日が経つにつれて現地での生活にも慣れてきましたが、ホテルが中心街より少し離れている事もあって姉妹都市委員会の方達と別れたあと自分たちで晩御飯を食べに行くのにホテルの近くにはレストランがなくホテルのレストランだけでは飽きてしまうこともあり大変でした。でもニュージーランドの料理はおいしかったです。

僕のプログラムの中にはニュージーランドオープンへの参加があり大島君とは別行動でしたけど

海外の大会は日本の大会とは雰囲気も違い、とても貴重な体験ができて良かったです。海外の選手とも片言の英語しか話せないですがいろいろコミュニケーションができて楽しかったです。姉妹都市委員会の方やインディペンデント・フィッシャリーズ社の社長と副社長が応援に来てくれて嬉しかったです。ホームステイではグラハムさんのお宅でバーベキューをしてくださってグラハムさん夫妻と楽しく過ごせました。

あと1番困ったのはハマナスプリングに連れて行ってもらった際に車を用意してくれましたが車がワゴン車だったので座席の位置が高く何回も乗り移りがあったので不便でした。ハマナでは日本の温泉とは違って水着を着てお湯に入り温かい温泉や冷たいプールみたいな温泉などがありびっくりでした。体の不自由な方にも温泉に浸かるためのリフトも付いていて福祉が進んでいることも実感できました。街のレストランやショッピングモールのお店にも車椅子専用のトイレがいたるところについていたりお店の玄関にはスロープが付いていたりして車椅子だからお店に入りたくても入れない場所が無いというのは日本の福祉が遅れていることを感じました。

これからの日本にもニュージーランドのすばらしい所を学び障害者でも自由に行動できる社会になっていけばいいなと思いました。

（原文のまま）

インフォプラザ in 倉敷

今後の講座など

事務局から

～談天説地～

中国語によるテーマ別ディスカッション

日時：11月22日(火) 18:30～20:00
場所：倉敷市文化交流会館3階
講師：孫 栄芳
定員：15名(事前に電話で申込み)
対象：中国語中級程度を理解できる方
参加費：500円(協会会員は無料)

～グローバル・コミュニティ・イン・イタリヤ～

英語によるテーマ別ディスカッション

日時：11月24日(木) 18:30～20:00
場所：倉敷市文化交流会館3階
講師：在住外国人
定員：20名(11月7日(月)から電話で申込み)
対象：英語中級程度を理解できる方
参加費：500円(協会会員は無料)

～グローバル・コミュニティ・イン・イタリヤ～

英語によるテーマ別ディスカッション

日時：12月15日(木) 18:30～20:00
場所：倉敷市文化交流会館3階
講師：在住外国人
定員：20名(12月1日(木)から電話で申込み)
対象：英語中級程度を理解できる方
参加費：500円(協会会員は無料)

～談天説地～

中国語によるテーマ別ディスカッション

日時：12月20日(火) 18:30～20:00
場所：倉敷市文化交流会館3階
講師：孫 栄芳
定員：15名(事前に電話で申込み)
対象：中国語中級程度を理解できる方
参加費：500円(協会会員は無料)

投稿募集中です！

Tierra(倉敷市国際交流協会協会紙)に載せる記事を募集しています。海外旅行紀行、海外留学体験、外国料理の店の紹介、ホームステイの受入体験、留学生の紹介、青年海外協力隊の体験、協会への御意見など、皆様からの投稿をスタッフ一同、首を長くしてお待ちしています。なお、紙面の都合上、編集させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

会員募集中！

倉敷市国際交流協会では平成17年度の会員を募集しています。年会費は、**個人が一口2000円、法人・団体が一口5000円**です。年度(4月～翌年3月)会員となりますので、この時期の入会をお勧めします。会員の方には、講座・イベント情報や協会紙をダイレクトメールでお送りするほか、講座受講料の減免などの特典があります。例えば、英語による国際理解講座、グローバル・コミュニティ・イン・イタリヤのディスカッショングループ、談天説地(中国語講座)などは有料ですが、会員になりますと無料です。講座当日の入会もOK!その日から特典を受けます。外国の方々も大歓迎。

国際交流等のテーマに少しでも関心をお持ちの皆さんは、ぜひとも協会にご入会ください。

詳細は倉敷国際交流協会事務局まで。

【発行者】倉敷市国際交流協会事務局

〒710-8565

倉敷市西中新田640

倉敷市役所企画政策室国際課内

Tel: 086-426-3015

Fax: 086-426-5131

Eメール

intntnl@city.kurashiki.okayama.jp

ホームページ

www.city.kurashiki.okayama.jp/kurakoku/index.htm